

令和6年度 第6回浄水地域会議 会議録

■ 日 時 令和6年10月9日（水） 午後7時 ～ 8時

■ 場 所 浄水交流館 大会議室

■ 出席者

＜委 員＞	石川 須美子	石崎 里美	勝野 房則
	加藤 耕助	桑原 正明	佐竹 修
	成瀬 博文	三浦 律夫	

＜交流館＞ 水野 小百合（浄水交流館 館長）

＜事務局＞ 松下 誠（地域支援課 副課長） 田嶋 優俊（地域支援課 担当長）
伴 悠平（地域支援課 主査）

■ 内 容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 提言に向けた地域課題の解決策の検討及び精査

■ 議事内容（要約）

3 提言に向けた地域課題の解決策の検討及び精査

前回の地域会議で検討した課題の解決策について、取組内容についての精査を行った。
内容は別紙のとおり

■ 今後の予定

令和6年度第7回浄水地域会議

11月13日（水）午後7時 ～ 浄水交流館大会議室にて

<内容>

- ・地域の運動会などのイベントの復活により、自治区間の絆を深めたい。
- ・地域のボランティアを募って、それを回すシステムがあるとよい。
- ・コミュニティーカーシェアリングの取組は、役員会でも話が既に出ており、高齢者の外出のきっかけにもなるのでぜひやりたい。
- ・おやじ会や青年会などの団体が浄水町自治区だけではなく、地域全体に広まるとよい。
- ・イベントなどは区長が中心になってやっつけてしまっているので、次世代に企画運営に携わってもらいたい。わからないことや困ったことがあればノウハウをもっている自治区役員たちに聞けばよいのではないかな。
- ・ボランティアセンターのような窓口を設置し、青年会やおやじ会などの募集をかければ、集まるのではないかな。
- ・伊保川水辺環境整備や伊保原自治区のマレットゴルフ場の整備など具体的な取組をきっかけに人は集まるので、それを活かして地域活動につなげる仕掛けがあるとよい
- ・中学校区単位で共通してなにかやろうということで集まってみて、夏祭りなど一つや二つイベントを始めてみてはどうか。
- ・地域の仕事を一人何役も引き受けている人がいるが、地域には心の中では関わりたいが情報がなくて関われない人もいると思う。そこをコーディネートできるような仕組みがほしい。
- ・「ボランティア」という言葉が先行するのではなく、楽しいイベントを通して集まり、結果的に地域の課題解決になっているという状況が望ましい。